

本学に献体された方のご遺族ならびにくすのき会会員のみなさまへ

「人体解剖のための遺体防腐処置に関する研究」のお知らせ

くすのき会会員並びにご献体いただいた皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

平素より本学の医学教育と研究にご理解とご支援と賜り、改めて感謝申し上げます。

既にくすのき会入会及び登録の際、研究に関するご同意とご遺体の一部保存について、個別にご同意いただいているところです。

最近医学研究において、ご遺体を対象とする場合には、研究課題ごとに広く会員の皆様、ご遺族の皆様、そして社会一般にどのような研究をしているのかという事を公開するようになってきました。そこで次のページからやや詳しくお知らせを記載致します。少し長くなりますけれども、この内容を読んでいただき、このような研究をされているという事をご承知・ご理解ください。

なお、内容について個別に回答する必要はありませんが、何か質問等がございましたら、私までご連絡ください。

会員の皆様、ご遺族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

令和5年1月6日

川崎医科大学解剖学

主任教授 樋田一徳

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、承認を得て実施いたします。また、学長と病院長の許可を得て実施いたします。

研究責任者	川崎医科大学解剖学	教授	樋田 一徳
研究分担者	川崎医科大学解剖学	准教授	林 周一
	川崎医科大学解剖学	准教授	横西 哲広
	川崎医科大学解剖学	講師	堀江 沙和
	川崎医科大学解剖学	助教	野津 英司
	川崎医科大学解剖学	助教	佐藤 慧太
	川崎医科大学解剖学	助教	外村 宗達
	川崎医療福祉大学		
	医療技術学部臨床検査学科	教授	清蔭 恵美
	川崎医療福祉大学	大学院生	森 天海
	川崎医科大学解剖学	技術員	高淵真智子

1. 研究の概要

現在、当教室ではご遺体の防腐処理は特殊注入ポンプを用いて固定前液（凝血除去剤）を注入し血管内の凝血を除去した後、ホルマリンを主成分とした固定液を注入して全身の灌流固定を行っています。固定方法としては極めて有効ですが、解剖時のホルマリンの暴露や全身の硬化など問題点もあります。

Thiel 法や N-vinyl-2-pyrrolidone(NVP)を含有した動脈用薬剤使用による固定は、殺菌・消臭効果もあり、皮膚や関節が柔らかく筋は生体に近い状態は維持されるとの報告があります。更にホルマリンが低量または未使用であるため、解剖時のホルマリン暴露の危険性も少なくなります。

今回、新たな固定液を作成し、注入後により効果的な解剖結果が得られる固定方法を検討することで、現在まで行われている固定方法との比較・検討を行う予定です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

川崎医科大学くすのき会入会申込書に記載してある解剖に関する同意項目全てに同意をいただいたご献体 20 体により行われます。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

Thiel 法や N-vinyl-2-pyrrolidone(NVP)を含有した動脈用薬剤使用による固定を行い、固定完了後解剖により得られた各臓器、筋、関節、皮膚の状態を詳細に観察し、従来からの固定方法によるご遺体の解剖から現在に得られている結果と比較・検討を行います。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、死因 等

試料：解剖で剖出した組織等

5) 外部への試料・情報の提供

なし

6) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学事務部庶務課、校舎棟5階解剖学実習教室、解剖学教室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。試料は研究終了後火葬・返骨し、二次利用は致しません。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご遺族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのご献体された方を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学 解剖学教室

氏名：樋田 一徳

電話：086-462-1111 内線 27520（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：toida@med.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織 >

研究代表機関名 川崎医科大学 解剖学

研究代表責任者 川崎医科大学 解剖学 教授 樋田 一徳

共同研究機関 川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床検査学科 教授 清蔭 恵美

3. 資金と利益相反

この研究は、川崎学園 学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。